

令和元年度 第16回タウンミーティング（全域）記録（要旨）

日 時 令和元年12月15日（日） 午後1時30分～午後2時40分

場 所 市役所8階 大会議室

伊東市総合計画について

	意見	市回答及び対応
1	超高齢社会を迎えるに当たり、高齢者の生活、介護の問題が非常に重要だと考えており、次の計画の中には高齢者、介護問題への取組についても盛り込んでいただきたいと思います。	本市における65歳以上の人の割合は42パーセントを超えており、当然今後の計画に入れていくべき課題であると認識しています。

地域の身近な課題について

	意見	市回答及び対応
1	各地区でタウンミーティングを行い、各諸問題があるにも関わらず、参加者が少ないことに驚きました。	開催日時を工夫するとともに、積極的に広報してまいります。
2	図書館の建設がなぜ今必要なのでしょう。建設予定地であるホテル跡地を早く処分しないといけない事情があるのでしょうか。	図書館建設は私の公約であり、先進地視察や皆様からの御意見を踏まえる中で図書館利用だけでなく市民の憩いの場となるような施設を造りたいと考えております。当該土地については検討会の意見を十分に尊重した上で決定したものであり、土地の使用を急いだということではありません。
3	台風等の災害時における高齢者の避難支援対策が必要ではないのでしょうか。	台風15号の際の反省から、台風19号の際には避難行動要支援者名簿情報をあらかじめ区長や民生委員の地区会長に伝え、御協力をお願いいたしました。
4	災害時の断水に備え、避難所となるコミセン等の水源確保のため、施設に貯水タンク等を設置できないのでしょうか。	今回の台風時の断水については停電が起因であるため、ポンプ場の電源を確保する対策を計画しております。

令和元年度 第16回タウンミーティング（全域）記録（要旨）

	意見	市回答及び対応
5	大震災が起こった場合、奥野ダムが決壊して莫大な量の水が流れ、鎌田や岡地区が水浸しになる恐れがありますが、この地域に避難場所がありません。	奥野ダムは大規模地震にも耐えうる設計をしているため、決壊時の心配はありませんが、あらゆる事態を想定し市民の安全確保に努めてまいります。
6	伊東消防署は伊東大川のすぐそばにあり津波等により被災する恐れがあるため、小学校の統合により空くことになる高台の土地への移転が必要と考えます。	伊東消防署については現在のところ移転の計画はありませんが、津波による浸水の可能性を踏まえ、駿東伊豆消防本部に当該御意見を伝えてまいります。
7	図書館よりも観光会館の方が古いと思いますが、どのようにするつもりでしょうか。	観光会館に代わる文化ホールについては図書館建設の後に進める予定であり、今後も検討を進めてまいります。
8	台風等で避難所の開設をする際に受け入れ条件を付けた上で、どこか1か所でもペット同行避難ができる避難所の開設をお願いします。 また、地震の場合には避難所（小・中学校）のペットエリアが指定されていますが、キャパオーバーになることが想定されます。避難に備え、あらかじめ各自治会に地区内の犬の頭数や名前、番号や狂犬病予防注射等の情報を知らせておいても良いのでしょうか。	ペット同行避難可能な避難所の開設や、民間施設との協力体制整備等の対策を検討いたします。また、地域の実態を知る上で御提案のような仕組は重要であると考えますので、検討いたします。
9	災害時には避難が重要であり、避難拠点を明確にして避難拠点には水や食料、毛布等の備蓄をすべきです。	災害時には全庁体制で対応し、避難所には各地区の支部員が配置される体制を整備しております。今回の台風時には避難者が多く対応が十分にできなかった反省も踏まえ、今後の対策に生かしてまいります。
10	AEDを設置する施設等に対し、義務的にAED取扱方法を習得させる必要があると考えます。	駿東伊豆消防本部ではAED（自動体外式除細動器）の取扱いを始めとする救命講習を実施しています。今後も救命講習等によりAEDの取扱い方法の習得に努めてまいります。

令和元年度 第16回タウンミーティング（全域）記録（要旨）

	意見	市回答及び対応
11	消防の広域化により、大きな災害時には沼津市のような大都市の救助が優先されるのではないのでしょうか。	広域化することにより事務部門や通信指令部門の効率化を図る一方で、現場体制の充実・高度化が可能となり、心配はありません。
12	子育てのサポートとして、子ども食堂の現状と将来像を伺います。	現在、子ども食堂は地域や団体が主体となり6か所で実施しており、実施地域を拡大するなどの方法で多くの子どもたちが参加できるよう活動を広げたいと考えております。
13	若い夫婦の移住定住促進施策についてどのような対応をしていますか。	今年度から移住就業支援事業補助金や移住定住促進現地ナビゲート事業等、移住促進のための各種施策を進めているところであり、引き続き効果的な施策を検討してまいります。
14	現在の図書館について、外観は丈夫そうに見えますが、老朽化が進んでいるのか、新設する必要性がどれほど大きいのでしょうか。	<p>現図書館は、生涯学習センター中央会館の館内にある複合施設で、昭和55年の開館からまもなく築40年を迎え、施設の老朽化は著しい状況です。</p> <p>現在は、市民の皆様が閲覧できる開架スペースが十分でないほか、休日等の中高生の学習スペース及び駐車場の不足など、ニーズに沿ったサービスを提供していく必要があります。</p> <p>このような状況下において、老朽化の著しい伊東市立伊東図書館及び伊東市生涯学習センター中央会館の移転を見据え、高度な図書館サービスのほか、ICTなどを活用した利便性の高い新たな図書館機能に加え、コミュニティ醸成の場としての生涯学習機能を有する施設として伊東市新図書館を建設する必要があると判断したところです。</p>
15	伊東に調理師や介護職を養成する専門学校等を設ければ、子どもたちが集まってくるような環境が整うのではないのでしょうか。	少子化が進行する中、専門学校等の経営状況は非常に厳しいことから、誘致は非常に難しいものと考えております。